

## 令和5年度第2回 協力病院連絡会議(報告)

日時:令和5年12月12日(火)  
16:00-17:18 Zoom 会議

出席者:清水卒後臨床研修センター長  
森医学教育部門長  
上條臨床研修部門長

参加者:教育協力病院および臨床研修関連の38病院

森医学教育部門長が進行を担当した。



### 1. 令和5年度「150通りの選択肢からなる参加型臨床実習」受入と実績・・・資料No.1

資料に基づき、学生の人数が例年と比較少なめということもあるが、各協力病院に配慮いただき多くの学生を配属するように設定している旨説明があった。

### 2. クリニカルクラークシップⅡにおける担当症例数について・・・資料No.2

資料に基づき説明があった。第2タームまでの症例数を示したもので、コロナ禍が明け少しずつ外来担当数が少しずつ増えてきているもののコロナ前と比較はまだ少し少ない印象である。学生の実情の踏まえ入院・外来を含め3症例程度の担当患者となるよう、学生に経験させていただきたい旨依頼があった。

### 3. 150通り実習 第1-第2タームの学生の感想について・・・資料No.3

資料に基づき説明があった。例年通り第1-3タームまでの感想を集計した資料を改めて案内させていただき、今後の実習に役立てていただくよう説明があった。

本会議に引き続き卒後臨床研修管理委員会を開催した後、参加した全病院からコメントをいただいた。挙げられた意見要望は以下の通り。

#### 【各病院からのコメントが下記に記載】

- ・ 信大の実習生と他県の研修医と研修期間が重なったことで、とても良いコミュニケーションがとれ充実した実習になった。
- ・ 学生のモチベーションが高く、良い実習ができていると感じている。
- ・ 実習に来ている学生さんに、良い環境を提供できるように考えている。
- ・ 150通りの学生と初期研修医とが良い状態で研修ができている。また、質問として、研修医の時間外勤務の対応と自己研鑽の定義はどのようにしているか教えて頂きたい。  
(信大では時間外はA基準の適用範囲内で対応している。自己研鑽については、上司の命令下の学会活動等の作業は時間外勤務としている旨回答した。)
- ・ 実習の学生に患者のプレゼンをさせた時、上手ではないが要点は捕まえていて勉強していることが伝わった。
- ・ 以前の学生と比べると、大人しいというかシャイな感じの学生が多いように感じますが、基本的な部分はしっかりできているので大学での指導は行き届いていると感じる。
- ・ 学生と研修医との関わりがあまり無く、関係性を持たせるために病院としてどのように対応することが課題としてあり、学生が地元に残るためにどうするか考えていきたい。
- ・ 信大病院や他の病院にあるシミュレーターセンターの活用について教えて頂きたい。  
(信州大学医学部及び附属病院で体制を整えてから、今後県内のシミュレーションセンターとタイアップして実施していきたい。)
- ・ 内科・外科に学生を送っていただいています。積極的に実習を取り組んでいますのでこれからもよろしく願いいたします。
- ・ 150通りの学生を送っていただいています。非常に真面目に取り組んでいて、当院の研修医の刺激になっている。

- 外科に実習に来る学生は積極的に取り組んでいる。内科の学生で、たまに意思表示の苦手な学生が見受けられる時がある。
- 学生実習について、学生さんは熱心に取り組んでいる。受け入れについて、2名の受け入れで依頼していますので、今後も同様をお願いしたい。
- 150通りの学生ですが、1か月の実習である程度上達しているので、しっかり実習と指導ができていると思う。
- 学生実習を総合診療科で受け入れているが、学生がいることで研修医の刺激となり良い効果となっている。実習後のプレゼンについても良くまとまっていた。

外部委員としてご参加の信州 SP 会代表の白澤様より、「9月に4年生の臨床実習前 OSCE を実施した際、積極的な学生が多く医療面接の時間が余ることなく、ぎりぎりまで質問を受けていた印象がありました。」との講評をいただいた。

清水卒後臨床研修センター長の閉会の挨拶を以って閉会した。

以上